

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年 3月 15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1690500044		
法人名	株式会社メディカルケア		
事業所名	ケアホームあお		
所在地	富山県氷見市阿尾860-1		
自己評価作成日	平成29年2月22日	評価結果市町村受理日	平成29年3月27日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	北証パトナ株式会社		
所在地	富山市荒町2番21号		
訪問調査日	平成29年3月2日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>年齢層豊かな職員で、利用者様が慣れ親しんだ氷見の言葉も飛び交い、代表手作りの塩麴や手作りのR-1ヨーグルトも提供しアットホームな環境となっています。また、毎週一度のカンファレンスを行っており、今後のケアに繋げています。看護師も配置され健康面でのケアも行っています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>職員は、アットホームなやさしい雰囲気のほか、利用者へ声をかけ一緒に洗濯ものをたたむなど、和気あいあいと笑顔の絶えない家庭的な生活の延長に努めている。また、玄関には太い竹筒を加工した花器に一輪の花が飾られ、居室には孫の結婚式の写真やかわいい花を飾ったり、近所の友人と部屋でお茶を飲みながら話し込むなど、潤いのある暮らしの継続に取り組んでいる。</p>

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

ケアホームあお

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	申し送り時に理念の唱和をし、実践につなげる努力をしています。	職員は、毎朝の申し送り時に理念の唱和により気持を切り替え、情報の共有のもとケアの実践に繋がっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方と同じ場所へのゴミだしや回覧板を回しています。地域の文化祭にホームより作品を出品し、お茶会に招かれ交流を深めています。秋には青年団による獅子舞を回してもらっています。	地元の文化祭に招待され、お茶会や展示出品作品を眺めたり、また、事業所前の納涼祭では、職員と夜店の材料を準備し、近所の人達や高校生のボランティアと一緒に抽選会に参加し交流を深める機会としている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	市による徘徊SOSに参加したり、認知症サポーター養成講座にも参加しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一度、ご家族様、利用者さま、民生委員、市役所の方に参加していただき、現状の報告をし意見をもらっています。	会議は、2か月に1回、民生委員、市職員、利用者代表や家族代表などの参加により開催している。利用状況の報告や津波に対する避難訓練などについて話し合い、サービスの向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市からの困難事例の受入れを行っています。	市の担当者が運営推進会議に参加する機会を捉え、困難事例の受け入や介護保険関係の研修情報の提供を受けるなど、日頃から連携を深めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内の研修にて身体拘束について勉強会を行っています。7～20時は開錠し自由に入出入りが出来るようになっていきます。	身体拘束に関する研修を受講し、拘束に関する理解を深めている。また、毎月の事業所内研修では、職員がテーマを決め、調査、発表の機会を設け、身体拘束に対する認識を深めることに繋げている。また、言葉による抑制では、職員間でその都度話し合い対応に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内の研修にて虐待に対する勉強会を行い、虐待のないケアを実践するように努力しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	事業所内の研修にて理解を深める努力をしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に重度化や看取りについても話しています。ご家族様が納得のいくまで説明を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議で、ご家族様や市の職員の方に意見をもらっています。意見箱も設置しています。	利用者から食べてみたいものについての思いを聞き、お楽しみランチに取り入れている。家族からは、面会時などに居室の温度調整の要望を受けるなど、利用者や家族の意見を運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスや日常的にもコミュニケーションをとり、意見などを聞くようにしています。	カンファレンスで職員から出た意見について情報の共有を図り、今後の対応方法などに活かすよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	モニタリングには職員に担当を決め、役割を与えて向上心を持ってもらっています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内研修、メディカルケアの全体研修、外部研修にも参加してスキルアップを図っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	外部研修に参加した際には、参加者と意見交換をしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人と寄添い、困っている事などを聞き、職員全員で良い関係を作れるように取組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の思いや意見等を聞き、受け止める努力をしています。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様、本人のニーズを受止め、何が必要なのかなどをカンファレンスで話し合いケアにつなげています。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様一人ひとりの得意な事を見極め、役割を持っていただき、出来る事はやっただく。利用者様、職員がお互いに支えながら生活できる様に取り組んでいます。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の協力があって本人のホームでの生活が維持され、症状も安定されるので、ご家族様との絆をたいせつにし、関わりをもって頂くように取り組んでいます。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている	馴染みの方、親戚の方の面会には笑顔で対応し、近況報告などをして関係性を保つようにしています。	親戚の方や近所の友人の訪問には部屋でお茶を飲みながら話したり、朝日山公園の花見や番屋での食事会など、昔からの繋がりや思い出を継続できる支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係性を把握し、お互いにコミュニケーションが取れるように職員が利用者様の間に入っています。また配席の工夫もしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了のご家族様からの相談にも応じるように努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話や行動から本人を知るようになり、カンファレンスで話し合いチーム全体で情報を共有しています。	一人ひとりの生活歴を把握し、利用者の目の動きなどから、どんな思いがあるのかを推し測り、申し送り時などに職員間で検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様や本人との会話、センター方式の活用にて、これまでの生活背景の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	24時間シートの活用、本人、ご家族様との会話から現状の把握をしています。本人の出来る事にも注目し、持っている力を引出せるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>週に一度のカンファレンスで気づき・ニーズを話し合い介護計画を作成しています。また、ご家族様の意見も取入れています。</p>	<p>職員の意見や提案を取り入れた介護計画を作成しているが、前回課題とした家族からの意見の取り入れについて、面会時などに積極的に相談し、介護計画に取り入れるよう改善している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の気づき・工夫を個別記録に記入し、カンファレンスにて職員で話し合い、情報共有しケアにつなげています。</p>			
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご家族様が受診に行けないなどの緊急時には職員が受診同行を行っています。また病院までの送迎も行い柔軟に対応しています。</p>			
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>阿尾地区の文化祭に作った作品を展示、参加させて頂き、地域の方との交流をはかっています。また秋祭りでは青年団の方に獅子舞をまわしてもらっています。</p>			
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前からのかかりつけ医とご家族様との、それまでの関係を継続してもらっています。ご家族様による受診日には、日々の状態などを伝えて適切な医療が受けれるようにしています。</p>	<p>入居後もかかりつけ医はそのまま継続し、往診に来てもらったり、家族と受診に出かけるなど、本人や家族の納得を得た受診の支援に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師が配備されており、利用者様の気になる状態・症状などを看護師に相談、報告をしてアドバイスもらっています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には介護サマリーを提出しホームでの状態を伝えています。ホームでの生活を忘れないように定期的に訪問を行い支援しています。訪問時には病院側と情報交換を行っています。また退院前のカンファレンスにも参加して詳しい情報もらっています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>看取りについて支援を行っており、ご家族様と納得のいくまで話し合っています。また主治医とも連携を取り支援しています。</p>	<p>開設後から、看取り支援に取り組んできているが、その経験をもとに、利用者ごとのかかりつけ医や家族と今後の方針を共有し、訪問看護事業者など、関係者で連携する体制をつくっている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救命講習を消防署で受けており、緊急時に備えています。またAEDや救急カートも設置されています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>2か月に一度の自主避難訓練、年に二回消防署職員の立会いにより避難訓練を行っています。地域の方にも都合が合えば参加してもらっています。</p>	<p>自主訓練や消防署立ち合いの避難訓練の日時を近所の人達にお知らせし、まずは見学してもらい、協力体制の土台作りに取り組んでいる。</p>	<p>海岸に近いという地域の特性を踏まえ、今後は津波対策に取り組むことが期待される。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレ誘導時等はさりげない声掛けでケアをしています。利用者様の居室のプライバシー確保にも努めています。	言葉遣いに留意し、年長者として敬う気持ちを持って、支援している。また、羞恥心を伴うようなケアにあたる時は、プライバシーに配慮するよう心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	押しつけのケアがないように自己決定できる声掛けを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れがあるが、基本本人の好きなように自由に過ごしてもらっています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整髪、髭剃り、爪切りなど出来ない方には支援しています。利用者様がオシャレをしていた時には褒めるように声掛けをしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様と一緒に食事を行っています。また調理や後片付けも手伝ってもらっています。お楽しみランチを設けています。	桃の節句には、ちらし寿司にピンクの鯛でんぶをまぶすなど、見た目も楽しい献立を工夫し、皆でおしゃべりしながら楽しい雰囲気をつくっている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量をチェック・記入し、少ない方には食事の工夫や栄養補助食品を提供しています。利用者様の状態により食事形態を変えています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人で出来ない方には支援しており、利用者様に合った口腔ケアを行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を利用し、排泄パターンを把握し誘導をしています。	自尊心に配慮しながら、一人ひとりの心身の状態に即した支援方法を職員間で話し合い、利用者の負担を考慮した排泄支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	申し送り時に排便の状況を勤務職員に伝える事で職員に理解してもらっています。マッサージや水分を多めにとってもらい、また手作りのR-1ヨーグルトや代表手作りの塩麴を毎日提供しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者様の希望になるべく合わせて入浴してもらっています。入浴中は話をしながら楽しんでもらっています。	長湯が好きな利用者には、安全に配慮しながらゆっくりと自分のペースで入浴してもらうなど、一人ひとりの希望に沿った入浴支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夕方からは静かな環境になるよう気を配っています。冷え性の方には湯たんぽを使用してもらっています。特に夜間はエアコンの温度調整をこまめに行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬事情報を保管し、どのような薬を服薬しているのか職員間で情報の共有をしています。受診時には服薬の変更がないか、以前の薬事情報と照らし合わせて確認しています。誤薬がないように3度のチェックを行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の出来る事、得意な事を理解し、簡単なお手伝いに協力してもらっています。また、塗り絵・歌・トランプなど職員と一緒に話ながら行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	花見やドライブなどの企画を立て、一緒に出掛けています。出掛ける事が出来ない時などは外のベンチで日向ぼっこもしています。	事業所前の駐車場に出て、プランターで育てている野菜に水をやったり、ベンチに腰掛けて談笑している。また、朝日山公園の桜を見たり、法人内の他のグループホームに出かけ、獅子舞を見物するなど、なるべく戸外に出る機会を作るよう努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホームでお金を預かって管理していますが、外出する機会が少ない状況となっています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様から連絡があった時、希望があれば電話の取次ぎをしています。利用者様から希望される場合には話の傾聴をし、職員の方からご家族様に連絡しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には床暖が設置されており、暖かい畳スペースで横になってくつろげる様になっています。水槽にメダカを飼育して成長を楽しまれています。季節感のある飾りつけを行っています。	リビングには、雑誌ラックやメダカ的水槽などを置いて、本をめぐったり、メダカに餌をやるなど、楽しく過ごせるよう配慮している。また、アロマを使って、空気を清浄するなど、居心地のよい共用空間づくりに努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳スペースで横になっていたり、ソファでくつろいだり自由に過ごしてもらっています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使っていた家具などを持ち込み、使用してもらっています。またご家族様の写真を飾っていただいております。	孫の結婚式の写真などを壁いっぱい飾ったり、色とりどりのお花を使い慣れたタンスの上に置くなど、家族と協力しながら、居心地のよい居室をつくっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に歩行出来る様に手すりを設置し使用していただいております。また足元灯により、夜間などはより安全な設計になっています。		

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 ケアホームあお

作成日 平成 29年 3月 23日

【目標達成計画】

優先順	項目番	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災に対する訓練は行っているが、津波対策については行っていない。	津波対策のマニュアルを作成する。	社内研修で職員と話合い、マニュアルを作成し、確実な避難誘導が出来るように訓練を行う。	1年
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

ケアホームあお